実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和 7 年度
助成団体	公益社団法人日本カヌー連盟
事業細目名	タレント発掘・一貫指導育成事業
事業名	カヌースプリント有望選手育成合宿
助成金額	42,366,000 円

令和 7 年度将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成（タレント発掘・一貫指導育成事業）を活用し、公益社団法人日本カヌー連盟が行っている「カヌースプリント有望選手育成合宿」の実施状況について調査を行いました。

本事業は、カヌースプリントにおいて、より良い人材の発掘・育成を通した、国内育成環境の整備や、次世代有望選手をシニア世界選手権等のメダリストへと育成するための活動に対して支援を行うものです。今回調査を行った「カヌースプリント U23 有望選手国内合宿」では、海外派遣選手選考会や日本選手権の結果によって選出された U23 の強化指定選手を対象に、年間を通し定期的に集中合宿を実施しています。調査当日は、東京 2020 オリンピックの事前合宿でも使用された河川での水上トレーニング、またジムでのウエイトトレーニングやバイクトレーニングを視察しました。

■助成の意義

本助成によって、より多くの参加選手を集めて、事業を開催することが可能となったそうです。もし助成を受けられない場合は事業規模の縮小も検討せざるを得なかったそうですが、現在は本助成を受けることにより、参加選手に対する費用面での負担軽減も叶い、参加しやすい環境を作ることができているとのことでした。なお、合宿先では、U23 の選手だけでなく、シニア選手も同時期に合宿を組むことも多いそうです。世代を超えて一緒にトレーニングをすることにより、技術面の相乗効果だけでなく、参加選手から「モチベーションが高まった」という声もあがるなど、満足度が高いように伺えました。

■事業効果を高めるための取り組み

より良い人材を発掘するために、クーパー走やエルゴメーターを利用した体力測定を実施し、ポテンシャルの高い選手を見つけているそうです。

また、合宿の効果を高める取り組みとしては、合宿後に参加選手へアンケート調査を実施するとともに、今回調査を行った合宿地では、自治体とも実施状況を共有するなど、練習環境や問題点の把握・見直しに努めているとのことでした。

■所感

調査当日は、当初雨風が強く、水上での実践練習が危ぶまれましたが、天候が徐々に回復したことで無事に実施することができました。カヌーでは、その瞬間ごとの天候や水面の状況によって、練習メニューが変わること、タイムへ影響が出ることなども多く、選手らはその変化に臨機応変に対応しながら練習を行っていることを、今回の調査で実感しました。

近年では、過去に本事業へ参加していた選手が世界大会で好成績を残したこともあり、本事業の成果として選手や関係者からも関心を集めているそうです。日々ステップアップをし、今後より多くの選手が国際大会で活躍することができるよう期待しています。

（令和 7 年 11 月 28 日往査）

（写真）合宿の様子	
	